

《到達目標》

- (1) 表したいこと、つくりたいものを自分の表現で方法でつくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- (3) かいいたり、つくったりしたものなどを見ることに関心をもち、その楽しさを味わうようにする。

学習計画 (総授業時間数 68時間)

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	みんななかよし	・じぶんのかおをかこう ・くるくるちょっくん
	すきなものなあに	・すてきなたいよう ・すきなものいっぱいかばんにつめて
	ねんどでたしざん	・いろいろなかたちをねんどでつくってくみあわせよう
	でてきたできた	・すなばでなにができるかな
	はこハコはこ	・いろいろなはこやようきをあつめて、つんだりならべたりしよう
	ウキウキドキドキ	・およいでいるぼく・わたし
後 期	みてみておはなし	・おはなしのえ
	ペタペタペタン	・みのまわりにあるものをうつしてみよう ・コンピュータのスタンプ おし
	たのしいなすごいな	・ねんどですきなどうぶつをつくらう
	はっぱのへんしん	・あつめたはっぱでたのしいものをつくらう
	ウキウキドキドキ	・いもほりをしたよ
	ヒラヒラコロコロ	・まわってころがるたのしいおもちゃをつくらう
	うつしてうつして	・かみはんが
	ウキウキドキドキ	・たのしかったいちねんかん

《評価の観点》

《造形への関心・意欲・態度》

表したいこと、つくりたいものを自分の表し方でつくりだすことやつくったものなどを見ることに関心をもち、進んで造形活動を楽しもうとする。

《発想や構想の能力》

感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見付け、その思いをふくらませながら表したり、つくり方を考えたりする。

《創造的な技能》

かいいたり、つくったりしながら、思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。

《鑑賞の能力》

かいいたり、つくったりしたものの造形的な面白さなどに気付いたりして、楽しく見る。



《評価の方法》

- ・活動の様子を観察、発表、プリント、作品など。
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法 (授業の工夫・家庭学習)

- いろいろな表し方を体験できるようにします。
- いろいろな材料の特性と扱い方をきちんと指導していきます。
- 道具の適切な使い方について丁寧に指導します。
- 材料集めを保護者の方に協力をお願いします。

《到達目標》

- (1) 表したいこと、つくりたいものを自分の表現方法でつくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料をもとにした造形活動を楽しみ、豊かな発想をするなどして、体全体の感覚や技能などを働かせるようにする。
- (3) かいたり、つくったりしたものなどを見ることに関心をもち、その楽しさを味わうようにする。

学習計画（総授業時間数 70時間）

学期	単 元	学 習 内 容	《評価の観点》
前 期	2年生になったぼく・わたし	・紙皿に自分の顔を描く。	<p>《造形への関心・意欲・態度》</p> <p>表したいこと、つくりたいものを自分の表し方でつくりだすことやつくったものなどを見ることに関心をもち、進んで造形表現活動を楽しもうとする。</p> <p>《発想や構想の能力》</p> <p>感じたことなどをもとに想像力を働かせ、表したいことを見つけ、その思いをふくらませながら表したり、つくり方を考えたりする。</p> <p>《創造的な技能》</p> <p>かいたり、つくったりしながら思いのままに体全体の感覚や技能を働かせる。</p> <p>《鑑賞の能力》</p> <p>かいたり、つくったりしたものの造形的な面白さなどについて気付いたりして楽しく見る。</p>
	どうぶつたちのうんどうかい	・自分の好きな動物が運動会で競技をしているところを粘土でつくる。	
	ふしぎなたまご	・こんなこと、あんなことがあったらいいなと思ったことを、絵に表す。	
	わっ すごいな	・どのように描いたら自分の気持ちが伝わるか、形や色を工夫して、絵に表す。	
	かたおしかたぬき	・粘土の板に型抜きや型押しをして楽しむ。	
	これいいかんじ	・材料の手触りや量感、形の変化などを、体で十分感じて味わいながらつくる。	
	手をよく見て	・手の形やしわなどをよく見てかく。	
	黄色いぼうし	・絵の具につける水の量によって表現が変わることに気付く。	
	ウキウキウッキー	・身の回りの材料の組み合わせ方を工夫しながら、海の生き物をつくる。	
	きってワクワクめくってルンルン	・カッターナイフの正しい扱い方に慣れ、切り込みを工夫して表す。	
見て、見て、おはなし	・物語やお話から思いをふくらませながら、絵に表す。		
後 期	きれいなおちぼ	・絵の具の赤と黄を混ぜて、色をぬる。	<p>《評価の方法》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品 ・ 製作態度 ・ 自己評価、相互評価など。 <p>学習方法（授業の工夫・家庭学習）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 子どもたちの実態に合った学習活動にします。 ○ バランスのとれた内容ごとの授業時数を配分します。 ○ 鑑賞と表現の指導の関連を図るとともに、子どもたちが楽しく見たり触れたりしながらよさを鑑賞できるようにします。 ○ 友達と共同してつくりだす活動も行います。 ○ 生活科など他教科との関連を図るようにします。 ○ 身近にある材料を用いるときには、家庭にある場合はご協力をお願いします。
	ひかりのおくりもの	・光や影を使い、自分の思いに合わせて材料を切ったり、接着したりしてつくる。	
	あつめてかざったからもの	・自分が集めたものの思いに合った見せ方を考えて、工夫して表す。	
	おはなしロボット	・いろいろな大きさの箱や容器を積んだり、並べたりして工夫しながらつくる。	
	おしゃれなどうぶつ	・粘土のつまみ出し、削り出しなどの技法を生かして動物をつくる。	
	うつつてうつつて	・切ったり貼ったりして紙版づくりを楽しむ。	
	どんどんできるよ	・切った紙をつないで道をつくり、思いをふくらませて、町をつくる。	
	ピョコピョコストロームジック	・動く仕組みを知り、楽しく遊べるものをつくる。	
	さくひんぶくろ	・さくひん袋を好きな絵で飾る。 ・作品整理をする。	

《到達目標》

- (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、創造的な能力を伸ばすようにする。
- (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

学習計画 (総授業時間数 60時間)

学期	単元	学 習 内 容
前 期	自分の顔	・3年生になった自分の顔をよく見て、特徴をとらえ描き表す。 ・3原色を使い、混色の楽しさを知る。
	きせつの中で	・季節を感じる材料を集めたり、場所を見つけたりする。 ・材料や場所の特徴を生かしたり、今までの材料や方法を組み合わせたりして表す。
	これでかけるよ	・集めた材料を画用紙の上に置いて、材料を生かし工夫して絵に表す。 ・いろいろな描画材を使って表したい絵にしていく。 ・友だちと作品を見せ合いながら、工夫したところ、知ってほしいことなどを紹介する。
	グルグルかくかく	・いろいろな線を引き、引いた線から発想したことを、いろいろな表し方で絵に表す。 ・自分の表し方に合わせて描画材を選び、その特徴を生かす。
	くっつけくっつけ	・土台をつくり、いろいろな形の粘土をつけたり、足したりする。 ・つくり出した形を見直したり、つけ方を考えながらつくる。 ・友だちのつくり方やそのよさを味わい、自分の作品に取り入れる。
	風パワーぜんかい	・風の方で動く車の仕組みと、身近な材料を使ったタイヤをつくる。 ・材料を組み合わせ、動きを試しながら楽しく飾る。 ・できた車を動かしながら、美しさや面白さの感じなどを話し合う。
	心キラリ	・感動的な場面を思い出し、表したいことが伝わるように、場面やかき方などを工夫して絵に表す。 ・友だちと絵を見せ合い、伝えたい場面やその表し方などについて話し合う。
後 期	ねん土でお話	・粘土の塊にいろいろな操作を加え、空間をさまざまに変化させることができることを知る。 ・できた形から思いつくお話をふくらませる。 ・自分の作品を見直したり変形したりする。 ・作品をもとにして物語を紹介し合い、お互いの作品を鑑賞する。
	そのときの気持ちを大切に	・お話を聞き、絵に表したい場面を想像する。 ・場面の感じや様子をラフスケッチで表して、表したい場面に合わせて描画材を選び、表現方法を工夫して絵に表す。 ・作品を見せながら発表し、お互いの表現の工夫やよいところについて話し合う。
	ふわふわゴーゴー	・ポリ袋のもつ特徴に気づき、ふくらませたり、つなげたりする中で、自分のつくりたいものを考える。 ・思いに合わせて、袋のつなげ方や飾り方などのつくり方を工夫する。 ・作品を設置する場所を考えたり、つかったもので遊んだりして鑑賞する。
	だんボールのへんしん	・だんボールをちぎったりして、いろいろな形をつくる。 ・思いついたことをもとに、描き方やつくり方を工夫して表す。
	教科書びじゅつかん	・絵本の形や色の面白さ、表現の工夫を知る。 ・絵本を探して紹介し、その面白さやよさについて話し合う。
	みんなで作ろう！ゆめの町	・どんな町をつくと楽しいか、グループで話し合う。 ・材料や作り方を話し合い、計画を立てる。 ・計画に沿って、分担したり、つくり方を工夫してつくる。
	広がれ生きものワールド	・版づくりや刷り方などを理解する。 ・版に用いる材料の生かし方などを考え、版をつくり、刷る。
切って切ってトントントン	・のこぎりを使って、木を適当な長さに切る。 ・釘や金づちを用いて、工夫しながら木をつなげる。 ・友だちとお互いの作品を鑑賞し、よさを感じ取る。	

《評価の観点》

《造形への関心・意欲・態度》

自分の思いを表す体験を深めることに関心をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとする。

《発想や構想の能力》

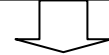
見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりする。

《創造的な技能》

手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫する。

《鑑賞の能力》

自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見る。



《評価の方法》

- ・活動の様子の観察、作品、発表、プリントなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法 (授業の工夫・家庭学習)

- 材料集めなどをする事により、作品づくりへの意欲をもつことができるようになります。
- 道具や材料、活動場所を工夫したり、グループ作品を制作したりすることで、造形の能力を高めることができます。
- 自分の作品を紹介したり、友だちの作品を鑑賞したりする活動を取り入れます。
- 授業でつくった作品をいつでも鑑賞できる環境づくりに努めます。
- 家庭では、材料集めなどにご協力をお願いします。

《到達目標》

- (1) 進んで表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。
- (2) 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、造形的な能力を伸ばすようにする。
- (3) 身近にある作品などから、よさや面白さを感じ取るようにする。

学習計画(総授業時間数 60時間)

学期	単元	学習内容
前期	自分の顔	・自分の顔をよく見て描く。
	絵の具のふしぎ	・色と色をまぜたり、重ねたりするとどうなるか、できた模様などから想像して絵に表す。
	きらきら光る絵	・光る紙などを使って、想像したことや描いてみたいことを表す。
	ひもでつくるう コロコロコロガラート	・粘土のひもをのばしたり、まいたり、つけたりして形を作る。 ・ビー玉やボールの転がる楽しい迷路やゲームを作る。
	きょうかしょび じゅつかん	・おもしろい建物や遊び場所を鑑賞する。 ・友達の作品を鑑賞する。
	わすれられない日	・心に深く残っている思い出を絵に描く。
後期	絵を描く会	・絵を描く会の作品を描く。 ・混色を工夫する。
	ワンダーランドへようこそ	・とびらを作って、行ってみたいところを想像し、絵に表す。
	ぬのから生まれた	・形や色、大きさの違う布を集めて、物をつめたり組み合わせたりして、楽しいものを作る。
	へん身パッ!	・自分になりたいものを書いて変身を楽しむ。
	木から生まれた世界	・日常の生活で印象に残ったことを木版で表す。
	ハッピーカード	・開くととび出すカードを作る。

《評価の観点》

《造形への関心・意欲・態度》

自分の思いを表す体験を深めることに興味をもつことやつくったものなどに興味をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとすることができる。

《発想や構想の能力》

見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりすることができる。

《創造的な技能》

手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方を工夫することができる。

《鑑賞の能力》

自分たちの作品のよさや身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに興味をもって見るることができる。



《評価の方法》

- ・作品・製作態度・作品カードなど
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法(授業の工夫・家庭学習)

進んで造形活動に取り組めるよう、いろいろな題材を行います。

一斉指導と個別指導をしながら、正しい用具の使い方と様々な技法の習得を図ります。

友だちの作品をよさを自分の作品の中に取り入れることができるような場を多く作ります。

材料を集めたり、用具の準備をしたりするなど、家庭で協力をお願いします。

《到達目標》

- (1) 造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにする。
- (3) 作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にできるようにする。

学習計画（総授業時間数 50時間）

期	単 元	学 習 内 容
前	描画 花のスケッチ	・自分の顔を描く。 ・花の一部分を良く見てスケッチする。
	ゲートをぬけてゴールイン	・いろいろな材料を使ってゲートを作り、お互いの作品で楽しむ。
	動くよ動く絵が動く よく見てみると	・アニメーションボックスの仕組みを知り、動く場面の流れを構成して作る。 ・不思議に見える面白さについて話し合う。
期	花の絵	・阿戸の花まつりに出展する絵を描く。
	トローリかたまれ 作品鑑賞	・液体粘土に色を混ぜたり、他の材料と組み合わせたりする。 ・自分や友だちの作品を鑑賞する。
後	わたしたちの校舎	・スケッチして思いが伝わるように画面構成をする。
	板を切り抜いて	・板を切り抜いて遊べるものを作る。
	作品鑑賞	・自分や友だちの作品を鑑賞する。
	ほって刷って	・表したい場面をきめ、版木に下絵を描いて彫り、多色で刷る。
	曲げてねじって	・粘土で好きな形をつくる。
	作品整理	・1年間の自分の作品をまとめる。

《評価の観点》

《造形への関心・意欲・態度》

自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。

《発想や構想の能力》

見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えたりするなど豊かな構想をする。

《創造的な技能》

表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚生かしたりして、表し方を工夫する。

《鑑賞の能力》

造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。



《評価の方法》

- ・作品、製作態度、作品カードなど。
- ・自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 自分の作品を大切にするように心がけさせます。また、自分のアイデアを生かすことを重視します。
- 友達の仕事のよさを交流してよいところを取り入れることができるようにします。
- 持ち帰ったものは、飾って使ってください。できればお客さまにも見てもらいましょう。

《到達目標》

- (1) 造形的な能力を働かせるとともに、自らつくり出す喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにする。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、創造力を働かせて、主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力をたかめるようにする。
- (3) 作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にできるようにする。

学習計画（総授業時間数 50時間）

学期	単 元	学 習 内 容
前 期	混色	・水彩絵の具の特色を生かす練習をする。
	のぼして、まるめて、くっつけて	・粘土を加工する操作から、見通しを持って作品をつくる。 ・つくりたい形にするために、それに適した用具を使ってつくる。
	修学旅行を伝える	・思い出が伝わるよう、絵や文、写真などを使って自由な表現方法で修学旅行をまとめる。
	ユラユラクルクル	・動く仕組みを知り、仕組みからつくりたいものを発想し、作品をつくる。 ・計画的に用具や材料の使い方を工夫し、パーツをつくったり、組み合わせたりしてつくる。
	くねくねアート	・はり金などの材料を切ったり、曲げたりして楽しく飾れるものをつくる。
後 期	わたしの町（絵をかく会）	・見慣れた「阿戸の町」で好きな場所を見つけ、絵に表す。
	心広がる場面	・物語やお話の中で心を動かされた場面を絵に表す。
	教科書美術館	・日本や外国の友だちが製作した作品を鑑賞し、作品にこめられた願いや思いを想像し話し合う。
	木版で表すと	・夢中で何かしている時の気持ちや、友達のようにすを版画であらわす。
	生まれ変わった板たち（卒業制作）	・板を計画的に切ったり、組み合わせたりして生活を楽しくするものや、便利になるものを作る。
	教科書美術館	・好きな画家の作品を見つけよう。 ・現代の美術作品を鑑賞し、そのおもしろさについて話し合う。

《評価の観点》

《造形への関心・意欲・態度》

自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自ら作り出すことや美しさなど造形的表現活動を積極的に楽しみ、喜びを味わおうとする。

《考え方》

見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、作りたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしたりする。

《表現・処理》

表したい意図や周りの様子に関連付けながら、創造的な技能を働かせたり、造型感覚を生かしたりして、表し方を工夫する。

《知識・理解》

造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりする。



《評価の方法》

- ・ 作品評価 ・ 制作態度
- ・ 自己評価、相互評価など。

学習方法（授業の工夫・家庭学習）

- 自分らしい表現方法を大切にします。
- 作品を作ったり、かいたりするときの注意点、コツなどを説明します。
- 友達の作品のよさ（発想、技能など）を交流してよいところを取り入れることができるようにします。
- たくさんの画家の作品を鑑賞します。